

前回の流域委員会での意見について

前回の流域委員会での意見と対応

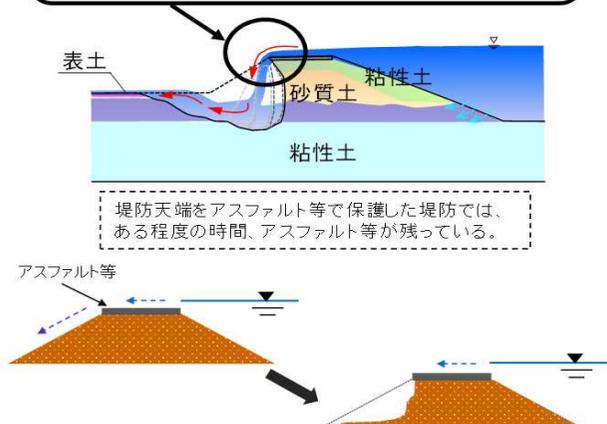
前回流域委員会での意見	対応
・堤防の強化(危機管理型ハード対策)について、整備率を教えて欲しい。	補足説明
・既設ダム活用案について、洪水の違いでカバーできない部分はないのか。	補足説明 河川整備計画変更(案)に反映
・鷹泊ダムは、下流に効果があると思料。嵩上げは考えないのか。	

堤防の強化(危機管理型ハード対策)の整備状況

- ・危機管理型ハード対策の整備については、「堤防天端の保護」、「堤防裏法尻の補強」とも石狩川下流全体の約18%実施済。(H29.3時点)
- ・平成32年度を目途に整備を進める予定。

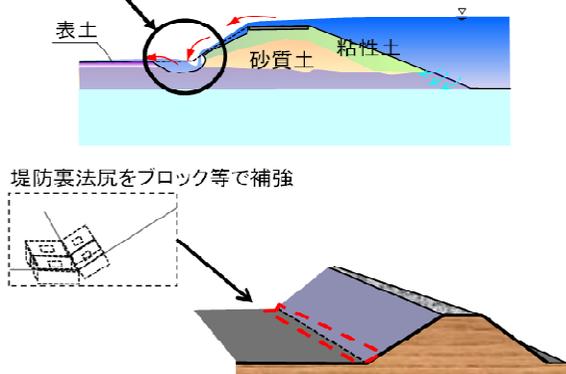
堤防天端の保護

- 堤防天端をアスファルト等で保護し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす

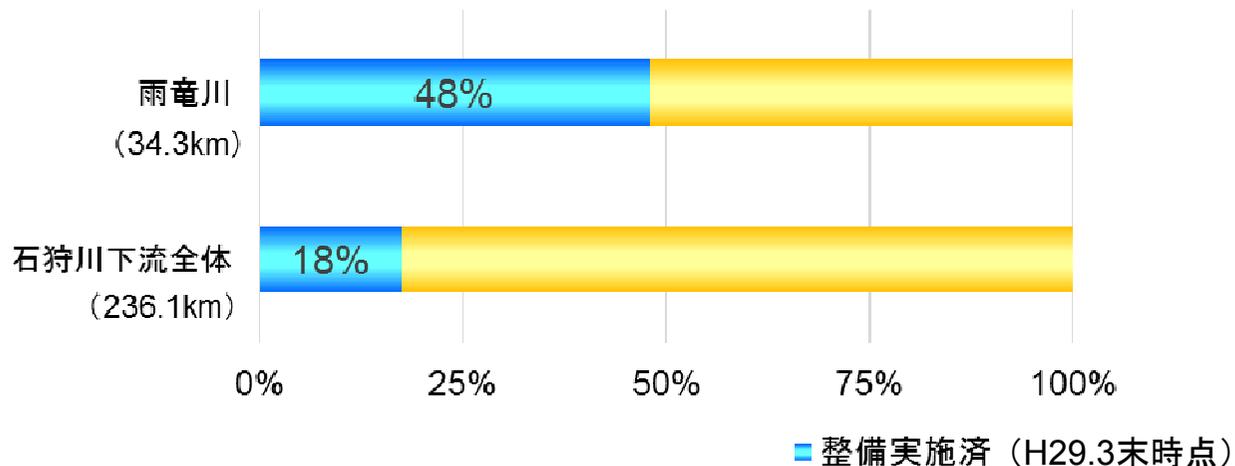


堤防裏法尻の補強

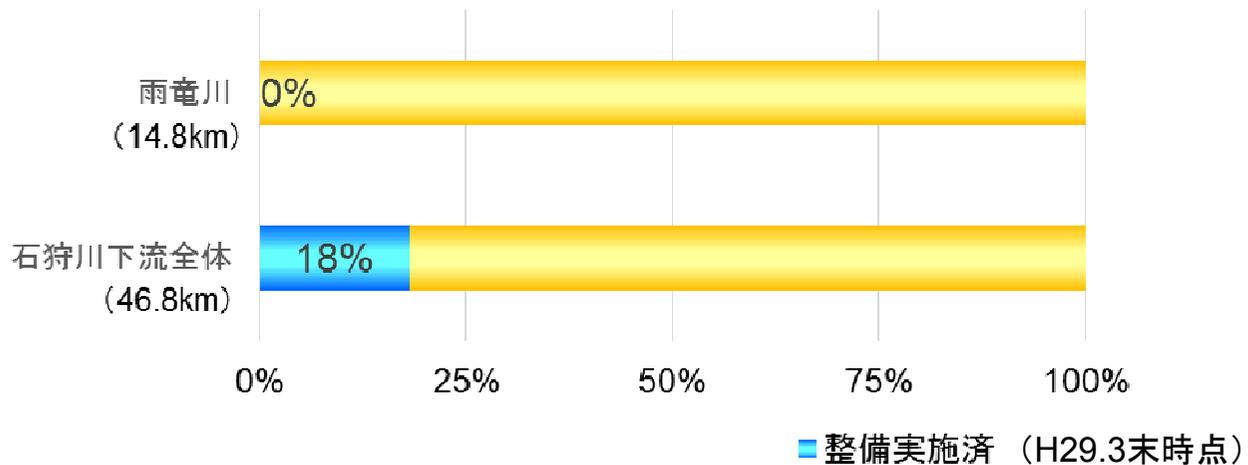
- 裏法尻をブロック等で補強し、深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防天端の保護



堤防裏法尻の補強



1-3-4 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標（整備計画変更案 P37）

河川整備計画の目標

河川整備基本方針で定めた目標に向けた段階的整備を総合的に勘案し、戦後最大規模の降雨により発生する洪水流量流下時の被害軽減を図ることを目標
※下流域：昭和56年8月上旬降雨、中上流域：平成26年8月降雨

計画を上回る洪水への対応

昭和63年8月洪水のような計画規模を上回る洪水や整備途上段階に施設能力以上の洪水が発生した場合でも被害をできるだけ軽減することを目標

- ・洪水氾濫を未然に防ぐ対策に加え危機管理型ハード対策
- ・関係機関と連携した円滑かつ迅速な避難の促進、的確な水防活動の促進、迅速な応急活動

計画を上回る洪水への対応

2 河川整備の実施に関する事項

2-1 河川の工事の目的、・・・

(3) 広域防災対策（整備計画変更案 P47）

計画規模を上回る洪水や整備途上段階に施設能力以上の洪水が発生した場合でも被害をできるだけ軽減するよう整備を行う

1) 施設能力を上回る洪水を想定した対策・整備

・危機管理型ハード対策、的確な水防活動・早期復旧に必要な整備

2-2 河川の維持の目的、・・・

(1) 河川の維持管理

3) 危機管理体制の整備（整備計画変更案 P60）

雨竜川では、昭和63年8月に計画規模を上回る洪水が発生し、下流域を中心に大きな被害が生じており、このような豪雨の局所化・激甚化に起因する災害が今後も発生する可能性があることから、関係機関及び地域住民と連携した減災のための取組を一層推進する。

・「水防災意識社会再構築ビジョン」における減災対策

3 今後に向けて

3-6 地球温暖化等による外力への対応（整備計画変更案 P67）

・近年の洪水についての調査・研究成果を踏まえ、外力の変動に対する治水対策を検討

3-7 既存施設の有効活用による防災機能等の向上（整備計画変更案 P68）

・鷹泊ダムなどの既存利水ダムの有効活用など、流域全体で防災機能発揮に向けた検討